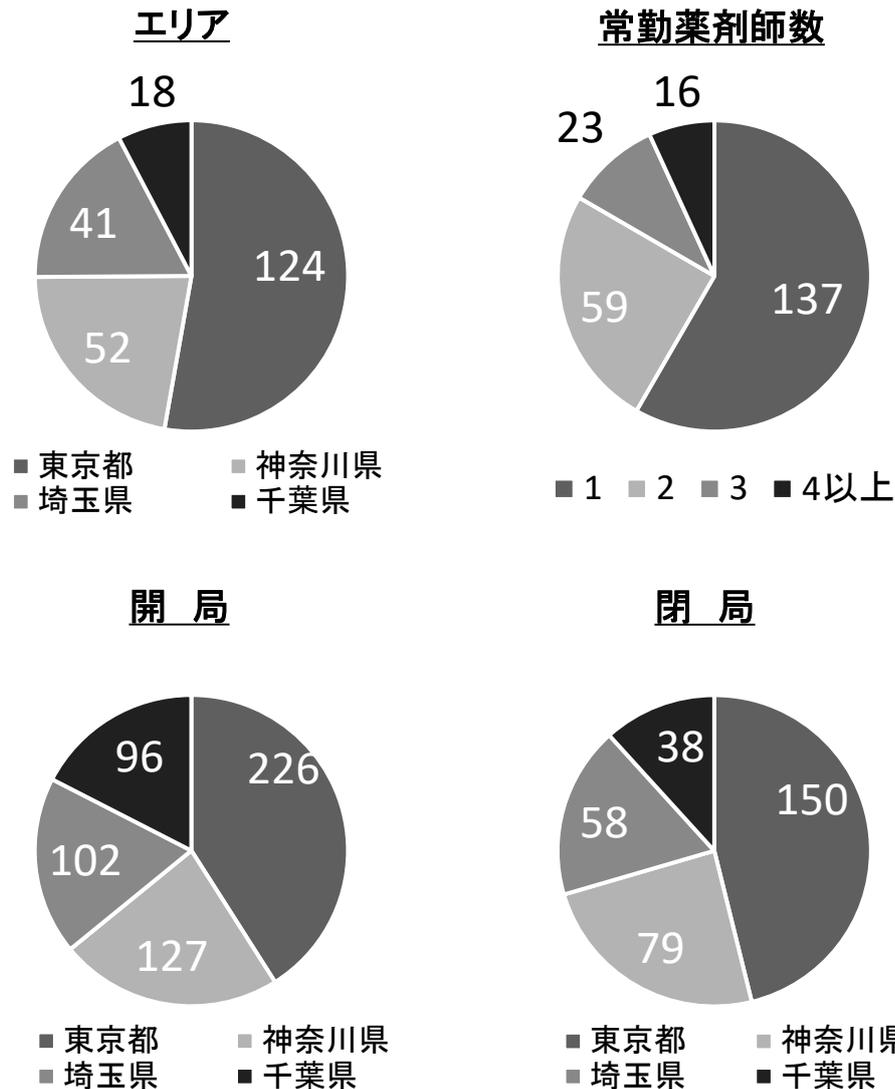


調剤薬局 M&A ニュース

<2024年3月号>

1. 2023年1年間の一都三県における薬局 M&A

(厚労省開示資料から当社作成・株式譲渡によるものは除く)



- ・事業譲渡薬局は 235 店舗 (株式譲渡によるものを含めると実質は約 1.5 倍あると予想)
- ・常勤薬剤師数 1 名の小規模店舗が 58% (137 店舗)、2 名まででは 83%(196 店舗)
- ・譲渡先は多くが中堅薬局への譲渡、大手薬局は約 1~2 割
- ・開局は 551 店舗、大手・中堅が大半
- ・閉局は 325 店舗

- ✓ 常勤薬剤師 1~2 名規模の小規模薬局の譲渡や閉局が進むと同時に、大手薬局の新規出店が加速しており、ますます競争が激しくなっていると見られる。

2. 大手薬局の業績（調剤関連事業のみ）

コロナ禍からの回復、出店増で増収、回復基調。

		決算	比較	業績（億円）				店舗				
				売上高	伸び率	営業益	伸び率	店舗数	出店	M&A	閉店	増減(期首比)
1	アイHD	4月	3Q	2,650	12.1%	189	9.1%	1,221	14	11	13	+12
2	日本調剤	3月	3Q	2,255	8.4%	106	0.2%	730	20	6	14	+12
3	ウェルシアHD	2月	3Q	1,901	13.2%	NA	NA	2,113	NA	NA	NA	+94
4	クオールHD	3月	3Q	1,233	6.9%	76	-8.2%	891	NA	NA	NA	△1
5	マツキヨココカラ	3月	3Q	1,192	3.9%	NA	NA	960	46	NA	10	+36
6	スギHD	2月	3Q	1,174	10.8%	NA	NA	1,568	142	NA	20	+122
7	ツルハHD	5月	2Q	611	11.9%	NA	NA	880	42	1	13	+30
8	メディス	3月	3Q	821	5.2%	49	15.5%	436	9	3	4	+8
9	東邦HD	3月	3Q	703	2.2%	14	-16.8%	759	NA	NA	NA	△8
10	スズケン	3月	3Q	658	0.2%	NA	NA	572	NA	NA	NA	△5

3. 業界トピックス（2023年12月～2024年3月）

(1) M&A

・ ウェルシアHD とツルハHD 経営統合

ウェルシアHD の 2,113 店舗、ツルハHD の 880 店舗の計 2,993 店舗の最大チェーンに

・ スギホールHD

阪神調剤グループを運営する I&H を買収

・ スギホールHD

全国に漢方専門店を 16 店舗を展開する薬日本堂を買収

・ マツキヨココカラHD

都内でドラッグストアや薬局 15 店舗運営するケイポートを買収

・ ファーマライズHD

中部地方を中心に 25 店舗を運営する GOOD AID を買収

・ クオールHD

鹿児島県で 5 店舗運営するケーアイ調剤薬局を買収

・ 寛一商店

富山県で 6 店舗運営する北陸調剤薬局を買収

(2) 業界動向

・ 調剤医療費（厚労省）

令和5年度10月の調剤医療費は 6,922 億円（対前年度同期比+7.3%）で、処方箋1枚当たり調剤医療費は 9,131 円（△1.1%）であった。調剤医療費の内訳は、技術料が 1,922 億円（+8.0%）、薬剤料が 4,987 億円（+7.0%）、薬剤料のうち、後発医薬品が 985 億円（+6.3%）であった。

以上